

SAS® インテグレーションの環境設定

デフォルトの SAS インテグレーションの設定を修正することで、JMP® と SAS の連携の動作を指定できます。SAS への接続に関しては、JMP からの SAS の利用の SAS への接続に関する 1 ページガイドをご確認ください。

SAS® インテグレーションの環境設定

JMP のウィンドウから、**ファイル > 環境設定** (Mac では **JMP > 環境設定**) を選択します。環境設定グループで **SAS インテグレーション** を選択します。

以下を含むオプションを選択できます:

1. **SAS サーバーバージョン:** 接続する SAS サーバーのバージョンを選択します。このオプションはローカルマシンの SAS への接続には適用されません。

デフォルトで、**SAS Metadata Server に直接接続する** が選択されています。SAS Metadata Server が利用できない場合、この選択を変更してください。

2. **SAS 実行オプション:**

- a. Operational Data Store (ODS) の結果を生成したい場合、**ODS 結果を自動的に生成する** を選択します。他には以下のオプションを指定できます:

- **ODS 結果の形式:** HTML、RDF、PDF、または、JMP report。
- **ODS スタイル:** ODS レポートのスタイル名 (デフォルトは Statistical)。
- **ODS スタイルシート:** ODS レポートのスタイルシート名。
- **結果が次より大きいときは確認のメッセージを表示する:** MB 単位のサイズ、越えた場合、続行するかキャンセルするかのメッセージを表示します。
- **グラフィック形式:** ActiveX (Windows のみ)、Java、PNG、JPEG、または、GIF。
- **ODS レポートに統計グラフを含めるには、ODS 統計グラフを表示する** を選択します。

- b. **生成された SAS データセットを JMP に読み込む:** 選択した場合、サブミットされた SAS コードにより生成された SAS データセットが自動的に JMP に読み込みます。大きいデータセットの場合、確認メッセージを表示します。

3. **SAS データの読み込み:** 3 つのオプションを指定できます:

- a. **データを読み込む際、SAS の変数ラベルを列名に使用する** (SAS の列名は使用しない)。
- b. **データを読み込む際、SAS のユーザー定義フォーマットを JMP の値ラベルに変換する。**
- c. **読み込まれたデータが未保存の場合、閉じる前に警告を表示する** (閉じる前の保存を誘導する)。

4. **ストアドプロセスの結果:** 以下のフォーマットを指定できます:

- a. **(レポートの)形式:** HTML、RTF、または、PDF。
- b. **グラフ形式:** ActiveX (Windows のみ)、Java、PNG、JPEG、または、GIF。

5. **SAS ログを表示:**

- a. **常に、しない、または、エラー発生時 のいずれかを選択**
- b. **場所:** JMP ログ、または、別のウィンドウのどちらかを選択

注意: JMP からの SAS の利用については、JMP のヘルプで「SAS インテグレーション」で検索するか、JMP の使用法(ヘルプ > ドキュメンテーション以下)で「SAS からのデータの読み込み」の項をご参照ください。

